



2020年11月

提案箱のご意見に対する病院からのご連絡

数多くのご意見、ご感想をお寄せいただきありがとうございました。ここに、ご意見についての実施状況または回答をご報告申し上げます。

皆さまからのご意見

腹部エコーをしたが、その時エコーを実施する技師から、研修させてもらえないかと打診があり、了承したものの20分くらいかけて検査され、その後ベテランの方に交代しさらに20分くらい検査され、その間腹部を出したままであり、とても寒かった。息子（障がい者で車椅子）にも同様の経験がある。高齢者や障がい者に対しての実施はなるべく避けてほしいと思った。新人さんの練習は必要だと思うが、新人さんが施行時に随伴して上級者が指導するなどもう少し検討してほしい。

当院の内容

この度はご不快な思いをされたこと、申し訳ございませんでした。
超音波生理では超音波技師を増員するため常に複数人の研修と放射線科医師や消化器内科医師など多職種の職員が超音波の検査を実施しています。
技師の研修では必ず検査前に承諾を得てから検査をしており、20分程度を限度としています。その後上級者が確認しますが検査内容によっては時間がかかる場合もあります。また意見にある常に研修者と付き添ってすることは検査運用の非効率に繋がるため、研修レベルに応じて対応しています。
ご意見では寒さと時間の長さを感じられているため、検査者が患者さんに声かけなどして今以上に配慮することとします。また検査の研修については掲示がないためPDPやポスターなどを待合に掲示して対応してまいります。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院

